

**2025年 保護者等向け 放課後等デイサービス評価表**

公表日： 2025年12月15日

事業所名：運動遊びと療育支援こどもプラス新松戸教室

対象人数（保護者） 13人 回答者数 10人 回収 76.9%

	チェック項目	とても満足	概ね満足	やや不満	不満	わからぬ	ご意見	教室からのコメント
満足度	1 お子様は安心感をもって通所していますか？	8	1		1			
	2 お子様は楽しんで通所していますか？	7	1		1	1	・運動に苦手意識がある為、時々通所の際に「運動したくないから行きたくない～」と言うこともあります。 ・行ってしまうとある程度充実した顔で帰宅するが、同じ世代のお友達が少ないので、あまり楽しみにはしていません。馴染みの先生がいることがわかると親子で安心します。	・運動への苦手意識については、すぐに取り除くことは難しいですが続けることで出来るようになります。何事も根気強く継続し、自信を付けることが出来るように取り組んでいきたいと思います。 ・学年が上がってくると同学年が少なくなってしまう傾向がありますね。人数に関わらず運動を楽しめるよう工夫を行っていき、通所の際には楽しい時間となるよう努めます。
環境・体制整備	3 怪我がないように安全に配慮した空間と活動の提供がされていますか？	7	1		1	1		
	4 生活空間は、清潔で、整理整頓がされており、活動に適した空間になっていると思いますか？	9			1			
適切な支援の提供	5 お子様にとって活動のスペースは十分だと思いますか。 尚、こどもひとり当たりの活動スペースは、2.47m以上と設備基準には定められています。	6	3		1		・トイレが一つしか無いのは他の子どもへの配慮が足りないと思う。	トイレについてはご不便をお掛けする事がございます。現環境上、増やすことは難しいですが、時間帯を分ける、順番を決めるなど工夫を重ね、利用しやすいように取り組みます。
	6 職員の配置数は適切で十分だと思いますか。尚、定員10名以下の施設では、保育士または児童指導員の人員配置は2名以上と人員配置基準に定められています。	6	1	1		2	・子供の特性や年齢、スタッフさんのスキルにもよると思います。	様々な分野で専門性を持つ職員がおります。運動のスペシャリスト、言語のスペシャリスト等が各分野で専門性を活かし支援力の向上に繋げています。
保護者への説明等	7 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。 （※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。）	8	2					
	8 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	2		1			お子様一人一人によって取り組み方やスピードは異なります。基本的には個別支援計画に沿って支援を行っておりますが、要望によっては相談や個別支援計画の変更も可能ですのでいつでもご相談ください。
保護者への説明等	9 教室がホームページで公表している支援プログラム（※2）は、実際に提供されている支援内容と合っていると思いますか。 （※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るために、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。）	5	4			1		教室で行っている内容を直接見ていただくことも出来ますので、是非教室までいらしてください。
	10 こどものことを十分理解し、こどもや保護者のニーズや課題に沿ってが客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 （※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有る能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供するまでの留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。）	8	2					
保護者への説明等	11 放課後等デイサービス計画に沿った内容で、支援が行われていると思いますか。	7	2	1				計画に沿って支援を提供しておりますが、ご意見・ご要望がございましたら管理者までお問い合わせください。
	12 社会的な活動や外部でのイベントなど、多様な活動が提供されていますか？※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	6	2	1	1			イベントについては生活能力向上のためのイベントや、経験、親子での取り組みを中心としたイベントを計画しております。今後も楽しいイベントを計画していきます。
保護者への説明等	13 教室を利用する際に、サービスの内容と提供時間の範囲などが記載された運営規程、支援プログラム、利用者負担(費用)等について十分な説明がありましたか。	8	2					
	14 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援目標や内容の説明がありましたか。	9	1					
保護者への説明等	15 教室では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等 ※4 )や家族等も参加できる研修会や情報の提供が行われていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。 （※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。）	4	1		1	4	・イベント(外出)になると保護者参加、現地集合、現地解散ばかりになってしまった。 ・先生に対して子どもが心を開いていないので信頼関係を築けるイベントを作つてほしい。 ・親が側にいれば子どもは親にばかり質問をして教室での活動の意味が無い。	イベント内容の考案は上記の通りに行っております。お子様だけの参加のイベントも企画していきますのでご参加ください。ねらいを明確にして、イベントの開催を行っております。実際にお子様の様子を見てもらう事で意外な一面を見る事が出来たという意見もいたいたいこともあります。親子参加のイベント、お子様のみ参加のイベントをうまく組み合わせて行きます。お子様と職員が関係性を築く方法については、普段の活動やイベントなど、適切な内容を検討してまいります。
	16 日頃からお子様の状況について情報交換がされ、健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	4					
保護者への説明等	17 定期的に、面談が行われたり、助言を受ける機会はありますか。	7	1	1		1		面談は年に2回モニタリングをおこなっていますが、保護者様によっては月に1回面談を申し込んでくださる方もいらっしゃいます。ご予約制ですが随時面談は可能ですので是非ご連絡ください。
	18 教室の職員から共感的に支援をされていると感じますか。	7	2		1			当教室で対応が難しい内容ではないこと以外は基本的に相談を重ねて支援に繋げていきます。 お子様やご家族のお気持ちを大事にし、支援をしていきたいと思います。
保護者への説明等	19 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	4	4			2	・保護者会等の開催は個人的には特に希望していないです。	保護者会は自由参加ですので、無理のない範囲でご参加ください。
	20 相談や苦情解決の体制があり、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応がされていると思いますか。	4	3	1		2		これからもご要望に合わせ対応してまいります。随時相談の予約を受け付けておりますのでご連絡ください。相談・ご意見の受付については、利用契約時に各担当者や機関等をご案内させていただいております。
保護者への説明等	21 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため、十分な配慮がなされていると思いますか。	5	4	1				HUGを活用して連絡を取らせていただいております。緊急の場合やお急ぎの場合は電話やLINEの活用し、迅速な対応を心掛けております。
	22 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	3					
保護者への説明等	23 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	3					

非常時等の対応	24	教室では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2								
	25	教室では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出など必要な訓練が行われていますか。	8	2								
	26	教室より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	3								
	27	事故や怪我などが発生した際に、教室から速やかな連絡や状況等の詳細について説明が十分にされていますか。	6	2	1			1				お子様が怪我をした場合には、速やかにご連絡を行っておりま す。

公表

## 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス新松戸教室

公表日 2025年12月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40m以上確保できているか	9		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	

適切な支援の提供	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		
	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	3	自己選択できるように配慮を行っている。自己決定の許容が難しい場合もあり、状況に応じてルールを理解してもらう時と自己決定に委ねる時の判断している。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	6	医療機関や発達センターと連携する機会を増やしたい。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3	児童によっては機会があるが部分的である場合がある。多くの職員が関り、連携を強化していきたい。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		9	地域のお子様との交流はあまりない
	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		9	地域の他事業所の交流会や会議には積極的に参加している。協議会等の市が開催する情報共有や意見交換の機会があれば是非参加したい。

	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		9	家族に対しての支援プログラムは提供機会が多くはない。お伝えできる方法や知識を増やし、家族支援の機会も設けていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	3	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備とともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	まずは落ち着ける活動環境を優先している。地域住民との関りは現状は少ない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		